

令和元年度滋賀県家畜保健衛生所重点取組

家畜伝染病の発生予防と家畜の健康を保持することにより、
安全な畜産物の生産体制の確保に努めます。



高めよう！食の安全、広めよう！食の安心

家畜保健衛生所では、次の課題を重点に取り組んでいきます。

1. 家畜伝染病の発生予防と発生時のまん延防止

家畜伝染病の発生予防のためには、何より畜産農家の方々に日頃から適切に飼養衛生管理をしていただくことが大切です。飼養衛生管理の基本となる「飼養衛生管理基準」について、遵守いただくよう、農場への立入検査や、重点的に指導すべき農家について反復・継続的な確認・指導を実施し、農場や地域全体の飼養衛生管理水準の底上げを図ります。

また、口蹄疫等の特定家畜伝染病が県内で発生すれば、地域経済への影響は極めて大きなものとなります。そこで、発生予防対策の指導と併せて、関係機関との情報共有と連携を図ることにより、監視体制の維持、および迅速かつ的確な初動防疫を行うための家畜防疫体制の充実強化に向けた取り組みを引き続き行います。

2. 家畜衛生対策の推進

牛白血病や PRRS などの慢性疾病の存在は、発育不良や治療を要する個体の増加により生産性が低下し、畜産農家の収入減少につながります。地域的なまん延状況を把握し侵入防止を図るとともに、侵入時には、原因の究明や飼養条件の問題点の把握、適切なワクチンの接種等を関係者ととともに検討し、疾病の清浄化、生産性の向上、地域衛生レベルの向上を目指します。

3. 畜産物の安全性の向上

飼養衛生管理基準の遵守は、家畜伝染病の発生予防だけでなく、畜産物の安全性確保や慢性疾病の予防など経済的効果が期待できます。そこで、本基準の遵守徹底を指導することにより、安全な畜産物の供給と生産性の向上を促進します。

また、畜産農場における衛生管理をより向上させ、健康な家畜の生産と畜産物の安全性の向上につながる、HACCP の考えを取り入れた飼養衛生管理に取り組む畜産農家に対し、農場 HACCP 認証取得に向けた定期的な指導を行います。

4. 乳用牛の飼養管理技術・繁殖技術の指導による生産性向上

【飼養管理技術指導】牛群検定データを活用し、生産性向上を目的とした技術研修会の開催や重点農家指導を行います。

また、暑熱被害の低減などの飼養環境の改善指導を行います。

【繁殖技術指導】牛群検定や繁殖成績等に基づき優良な後継牛の確保および体外受精胚のレシピエント牛の選定等に係る交配指導を行い、キャトル・ステーション事業を推進します。

